

平成28年度 学校評価実施報告書

幼稚園名(京都市立伏見住吉幼稚園)

1 1回目評価

・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定			
	評価項目	(前年度評価を踏まえた) 年度末までの取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・ 各種指標
確かな学力・豊かな心・健やかな体	保育の改善・充実	・安心・安定のできる環境構成と援助の在り方 ・主体的に遊ぶための環境構成と援助の在り方	・幼児の遊ぶ姿の変容・事例検討 ・アンケート項目 「子どもは楽しんで幼稚園に通っていますか」
	幼小接続の視点	・小学校との研究の促進 ・公開保育と研究報告会の実施 ・年間交流計画の作成 ・研究の取組の発信	・幼小接続の研究の検証 ・公開保育・研究会の回数 ・研究会参加者の意見
	心と体・生活習慣	・生活習慣の定着に向けた保護者との連携・啓発 ・保健指導を計画的に実施 ・運動遊びを保育に取り入れる	・アンケート項目 「生活習慣・保健指導のアンケート」 ・保育の計画に取り入れているか
	信頼関係・折り合い・自己肯定感	・教師との信頼関係づくり ・発達に応じた友達との人間関係づくり	・アンケート項目 「教職員は子ども一人一人に あたたかいかわりをしていますか」
園独自の項目	預り保育の充実	・預り保育の参加人数 ・保育者同士の連携 ・指導計画の作成・見直し	・預り保育の参加人数 ・アンケート項目「預かり 保育を喜んでいますか」 ・保育記録の作成と活用
	子育て支援の推進	・園庭開放の実施・充実 ・教育相談の取組	・園庭開放の参加人数 ・ほっこり子育て広場の実施回数及び参加人数(在園児)
	情報発信の充実	・ホームページの更新 ・園便りによる発信 ・掲示板の活用	ホームページのアクセス数 ・保護者からの反応



・アンケート実施結果、 その他指標の結果について整理	自己評価	
	評価日	平成28年8月18日
	評価者・組織	教職員
アンケート結果・ 各種指標結果	分析 (成果と課題)	分析を踏まえた改善策
・幼児の遊ぶ姿の変容(事例検討から) ・アンケート結果 「楽しんでいる」100%	・幼小接続の研究との関係で事例検討の回数が増え、話し合いを重ねることで子どもが安心・安定し、主体性をもって遊ぶ姿に	・安心・安定した姿になっているので、今後主体的に夢中になって遊ぶための環境構成や援助の在り方を探っていく。
・公開保育・研究会の計画実施率100% ・研究会参加者の意見は高評価	・幼小接続の研究の積み重ねをしている。お互いの教育の理解の上での授業や保育になりつつある。	・幼小接続の大切さの保護者啓発を入学前の5歳児保護者に行う。 ・接続期の教育課程の検証を行う。
・アンケート項目 「自分の事は自分です」81% ・保健指導は毎月実施できた	・生活習慣の定着についての保護者の評価は厳しい。 ・保健指導は毎月実施でき、保健に対する子どもの意識が変容した	・個人差もあることなので、日々の子どもの様子を担任より、具体的な姿を通しては発信し、理解を得ていくようにする。
・アンケート項目 「あたたかいかわり」95%	・教師のかかわりをあたたかいと感じているアンケート結果から信頼関係は良好。 ・発達に応じた友達との人間関係づく	・発達に応じた友達との人間関係づくりについて保護者に懇談会などを利用して啓発していく。
・預り保育の参加人数増加 ・アンケート項目「預かり保育を喜んでいますか」60%	・アンケートの「預かり保育を喜んでいますか」の評価が低いのは3歳児は2学期からの実施になるためである。	・具体的な活動の見直しと共に担任と預かり保育担当教員との連携を図る。
・園庭開放の参加人数多少であるが増加 ・ほっこり子育て広場の参加人数は、ほぼ全員が参加	・園に来てもらうことで、園の様子が理解してもらえた。丁寧に保護者の思いに耳を傾けることが大切である。	・園に来てもらうと、園の良さもアピールがしやすい。登録者数が入園児数につながるようにしたい。
・アクセス数増加 ・保護者からの反応は高評価 ・未就園児の保護者もよく見ている。	・保護者や地域の方から子どもの様子がよくわかるとの評価をいただく。未就園児の保護者のアクセス数増加は嬉しいことで	・入園を考える未就園児のアクセス増加は、園児獲得につながるため、更新回数の増加と内容の充実を目指す。

学校関係者評価	
評価日	平成28年8月23日
評価者 (いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
学校関係者による意見	学校運営協議会・ 学校評議員による 改善に向けた支援策
・遊びに興味をもつことで、主体的にかかわり学びも多い。今後も大切にしたい。	・興味をもったことを育てる方向で小学校と共にこれから研究を進めていく。
・幼小の研究が子どもたちのためになってきていると感じるので、継続して欲しい。	・地域の子どもの成長を目指し小学校から声をかけ、幼稚園も一緒に保育園と交流を深めていく。
・現在の子どもの体力が落ち、危険から自分の身を守ることができない。幼児期からの育ちが大切だと思う。	・繰り返しや継続の取組をしていくことで、身につけていくことと思うので引き続き取り組んでいく。
・今年度の花の苗屋さんという意味で意味があった。優しくかわってくれて嬉しかった。	・人とかわる力を育てていくためにいろいろな方と交流する機会を学校評議員の方の力をかりて行う。
・保護者の立場としては、預かり保育があると、助かっている。預かってもらえる所があるということで親も安心感がもてる。	・預かり保育をしているという周知がまだ在園児以外に足りないため、ホームページなどの発信の強化。
・未就園児さんが園に来てもらう機会として今年度も児童館のイベントに参加してほしい。	・できるだけたくさんの未就園児さんに児童館のイベントに参加してもらえるようにチラシやポスターの掲示を積極的にしていく。
・評議員会で園長が行った視覚的に訴える本園の取組の報告で幼稚園の様子や子どもたちの姿がよくわかった。	・このような視覚的に訴える方法での発信を継続していくようにする。

